

令和5年1月26日

令和5年1月 記者懇談会 冒頭挨拶

○ 本部長の榎本です。本日もお忙しい中、また足元の悪い中、お集まりいただきましてありがとうございます。

○ 新年を迎え、本日が初めての記者懇談会となりますが、去年は、第八管区海上保安本部の様々な取り組みを報道で取り上げていただいたことに加えまして、新年早々にも、舞鶴市、地元企業と共同開発した、「まいづる海保クッキー缶」のお披露目に際しまして、118番の啓発を含め報道いただいたことに感謝申し上げます。引き続き、第八管区海上保安部の取り組みを積極的に発信してまいりますので、本年もどうぞよろしく申し上げます。

○ 前回の記者懇談会以降、この年末年始は、北朝鮮のミサイル対応のほかは、幸いにして事件・事故がほとんど発生しておらず、比較的平穏な新年を迎えることができました。こ

れも、日頃の事故防止の取り組みに加えまして、年末年始にあたり、「特別警戒」、「安全指導」などに集中的に取り組んできた結果であると考えているところです。

○ また、昨日まで、強い冬型の気圧配置により、日本海側は海上荒天と大雪に見舞われ、石垣ではパナマ船籍の貨物船が乗り上げたほか、長崎では香港籍の貨物船が沈没するなど、大変大きな海難事故が発生し現在も対応中です。

○ 当管区では、「海の安全情報」による注意喚起、各部署における関係各所への安全指導、AISによる監視などにより、海難の未然防止を徹底して行った結果、現在までに管内では海難は発生しておりませんが、今回に限らず、この時期は海上荒天、或いは豪雪による海難が懸念されるところ、引き続き事故の未然防止に努めてまいります。

○ さて、先日、私は、職員に対する年頭の訓示の中で、組織が常に成長し続けるためには、現状に満足することなく、現状の課題や社会の変化、業務ニーズに合わせ、職員が常に

考え、組織としてチャレンジングな目標を掲げて対応していく必要があると申し上げたところです。また、そのためには、職員一人一人が自分の仕事に対し、大なり小なり夢や理想を持つことも大切である、と申し上げました。

○ 今年の干支は、「癸兔」です。「癸兔」は「向上」「飛躍」を意味し、チャレンジするのに最適な年だと言われています。実は、私は今年年男で、前回の「癸兔」は、60年前の私の生まれた年でもあります。私自身引き続きチャレンジする年にしていきたいと考えていますし、八管区と致しましても、現状の対応に満足することなく、更なる「飛躍」を目指し、国民の期待に応えてまいります。

○ 本日は、発表項目として、「令和4年における海上犯罪取締りの状況」について、このあと警備救難部長から説明があります。当管区内の犯罪送致件数は、コロナの影響もあり減少傾向にありましたが、昨年は前年比106件増加の578件とコロナ前の状況に戻りつつあります。主な犯罪として、沿岸域での密漁事案が前年比124件増加となり、犯罪

全体の約7割を占めるという特徴があります。沿岸域での密漁の中には、海水浴等のレジャーで訪れた観光客が気軽な気持ちから違法行為に及ぶ例も少なくないことから、これら犯罪を未然に防止するための啓発が重要であると考えており、是非皆さまにも引き続きのご協力をお願いさせていただきます。

○ このほか、業務説明として、海洋汚染の状況と油防除資機材についての説明をさせていただきます。当管区における海洋汚染の確認件数は、全国的に見ても比較的低いレベルで推移していますが、過去には平成2年の「マリタイム・ガーデニア号」や平成9年の「ナホトカ号」など、大規模な油流出事案が発生しています。本日は、万が一事故が発生した時の油回収の手法について、実際の資機材をご覧いただきながら解説させていただきます。

○ 私からは以上です。本日もよろしく申し上げます。